

第3回 やっちろドラゴントレイル 感染症対策マニュアル



Yacchiro
DRAGON TRAIL

2021年6月1日作成

※内容は情勢の変化により変更する場合があります



(1) 開催条件

- ・ 熊本県および八代市において、**緊急事態宣言やまん延防止措置、その他イベント自粛の要請**が発せられていないこと、もしくは開催当日までに解除になる見込みが明らかであること。

(2) 参加資格

- ・ **熊本県内居住者**に限る
- ・ 県外居住者のエントリーが確認された場合は無効とし、参加費も返金しない
- ・ 県境をまたぐ移動制限が緩和された場合、参加資格もそれに応じて随時緩和する。



(3) 中止を判断する基準・時期および参加費の取り扱い

①7/26時点で緊急事態宣言やまん延防止措置、その他イベント自粛の要請が発せられていて解除の見込みがない場合

▼参加費の取り扱いは下記より参加者が選択することができる

A：手数料2,000円を差し引いた金額の返金

B：次回大会の無料参加権に代える

②7/27以降情勢の変化により開催条件を満たさなくなった場合

→参加費の返金有無および参加賞の取り扱いは物品の手配状況などを勘案した上で決定し、参加者に案内する



(4) 大会参加者の基本行動（お願い）

- ・ **COCOA**（新型コロナウイルス接触確認アプリ）のインストールを強く推奨する。
- ・ **マスク、ネックゲイター**等の口を覆うもの（以下マスク等）を持参・携帯し競技中以外は常に着用する。
- ・ こまめな**手洗い**、アルコールによる**手指消毒**を行う。（特にトイレ後や飲食前後は念入りに）
- ・ 他の参加者やスタッフ等との間隔を**1m以上**確保し、握手やハイタッチなどの接触をしない。
- ・ **大きな声で会話、応援等をしない**。
- ・ その他感染防止のために主催者が決めたルールを守り、その指示に従う。



(5) 健康観察シートの提出

- ・大会参加者には大会前2週間分の検温を含む健康観察シートの提出を義務づける。
- ・2週間以内に下記に該当する事項がある方は参加を許可しない。
 - ①37.5℃以上の発熱や喉痛・だるさ・味覚異常などの体調不良がある方
 - ②新型コロナウイルス感染症陽性の診断を受けた方
 - ③家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる方
 - ④陽性診断者との濃厚接触がある方
 - ⑤日本国外へ渡航された方



(6) 入場・受付

- ・ 駐車場入口にて**検温**を行う。37.5度以上の方は入場できない。
- ・ 検温は非接触型体温計を使用する。
- ・ 受付には距離を置いて並べるよう目印を設置する。
- ・ 受付のスタッフはマスク等を必着し、こまめに手を消毒する。
- ・ **ゼッケンは予め郵送**し、受付では健康観察シートと参加賞の受け渡しのみとすることで簡素化する。

(7) スタート時

- ・ **50名ずつ3分おきのウェーブスタート**を行う。後発の選手は密集にならないよう周辺で待機し、前の組がスタートしてからスタートレーンに並ぶ。
- ・ 事務局はエントリー時に登録した想定ゴールタイムが早い順にNo.を割り振る。
- ・ 開会式は簡易的に行い、参加者の集合は求めない。
- ・ 集合写真撮影は行わない。
- ・ **スタート直前までマスク等で口を覆い**、周囲の選手とできるだけ1m以上間隔を空ける。



(8) 走行中

- ・周囲の選手とは1m以上間隔を空けて走行する。
- ・唾や痰、口に含んだ飲み物を吐く行為は極力行わない。

(9) エイドステーション

- ・エイドには**消毒液**を設置し、手指を消毒した選手のみエイドを利用することができる。
- ・飲食物を提供するスタッフはマスク等と**ビニール手袋**を着用して活動を行う。手袋は作業が終了したら速やかに所定のごみ箱に捨てる。
- ・補給食は選手一人ずつ**小皿に取り分けたものか個包装**のものを提供する。

(10) フィニッシュ時

- ・完走証を発行するスタッフはマスク等を着用し、こまめに手をアルコールで消毒する。
- ・表彰式は簡易的に行う。（参加者の集合を求めない）
- ・大きな声での声援やハイタッチなどの接触はしない。
- ・**フィニッシュ後の選手はマスク等を着用して休憩する。**



(11) 飲食ブース

- ・ テーブルやいすの間隔を空け、密集を回避する。
- ・ テーブルごとに消毒用アルコールを設置し、ブース使用者に消毒を促す。

(12) 救護

- ・ 救護担当者はマスク等を着用し、ビニール手袋をつけて処置をする。手袋は処置が完了するたびに所定のごみ箱に捨て、適宜手をアルコール消毒する。（処置を受けた選手はその時点で失格）
- ・ リタイア選手が回収車両に乗る際はマスクを着用し、会話は控える。車両は十分な換気をした状態で走行する。



(13) スタッフ

- ・大会当日に選手と同等の2週間分の健康観察シートを提出する。発熱や体調不良など不適当な事項がある場合は参加を見合わせる。
- ・大会中は常にマスク等を着用し口を覆う。受付や給水など選手と対面するスタッフは特に必着。
- ・活動を始める前、終了後は必ず手を洗うかアルコールで消毒する。
- ・大会本部には衛生管理担当者を配置する。担当者は各対策が守られているかチェックリストを用いて随時確認し、複数の人が触れると考えられる場所はこまめにアルコールで消毒する。
- ・スタッフ同士及び選手とは1m以上間隔を空ける。握手やハイタッチなどの接触は禁止



(14) ご家族等の応援

- ・一般の応援は禁止しないが、マスク着用、他社との間隔を1m以上空ける、大声で応援をしない、ハイタッチなどの身体接触を避けるなど、選手・スタッフと同等の感染防止ルールを徹底すること。
- ・発熱など感染を疑われる事情がある場合は来場を禁止する。
- ・路上駐車など地域の迷惑になる行為は固く禁止する。

(15) 大会終了後

- ・選手、スタッフ、および応援者が大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性の診断を受けた場合は速やかに大会事務局に報告し、併せて大会時の濃厚接触者の有無等について申告すること。